

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 博愛福祉会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵米田
所在地	(〒 675-0054) 兵庫県加古川市米田町平津 413-1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・介護サービスでの訪問や、施設での介護にも看護師が積極的に参加しているため情報の共有がしっかりできている。
- ・作業療法士を配置しているため、利用者の心身の状況をこまめに確認し、各スタッフが状況を把握できている。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2023 年 3 月 28 日	従業者等自己評価 実施人数	(5) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	---------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日	出席人数 (合計)	(_____) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員 (_____ 1 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (_____ 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (_____ 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (_____ 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (_____ 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (_____ 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (_____ 人) <input type="checkbox"/> その他 (_____ 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	法人内・外問わず研修には積極的に参加 できるようにできるように 進めていく	実務者研修受講 3 名 外部研修受講者 2 名	希望者は研修参加は可能にしており 研修情報も伝えるようにできている	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	モニタリングによりサービス内容の見直しを随時行っていく	定期的な本人、家族への希望確認を行う	本人、家族の様子や意見を伺い、通いの増加や、泊りを提案できている。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	次年度は報告書・計画書を確実に配布し、 抜けのない連絡を行い 信頼関係を築いていく	看護計画書・報告書の提出 医療機関との抜けのない連絡体制	看護計画書・報告書は漏れなく提出できている 体調不良時は即座に連絡をとり対応できている
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	・喀痰吸引研修修了者の増加 ・認知症実践者研修修了者の増加を目指す	受講できず	実務者研修を優先したため受講の余裕が持てなかった。次年度受講を目指す
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	介護士・看護師・作業療法士と連携しプランの立案を行っていく	定期的なカンファレンスの開催	定期的にカンファレンスを開催できている。 新しい評価表も作成しカンファレンスに用いることができている	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	コロナ禍も落ち着き研修への参加も行った。	今年度は移乗等介護技術の向上を目指し内外の研修参加を行う	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	利用者、家族の希望や聞き取りによる通い回数の増加や宿泊の提案ができた	モニタリングによりサービス内容の見直しを随時行っていく
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	医療との連携は積極的に取り組んでいた。	次年度も引き続き報告書・計画書を確実に配布し、抜けのない連絡を行い信頼関係を継続させていく
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	地域の方々の在宅生活を支えられるよう多彩なニーズに対応できる体制(人員・必要資格の取得)づくりを強化していく	<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引研修修了者の増加 ・認知症実践者研修修了者の増加を目指す
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	看取りを2件行い、医療と介護の連携がとれた。 介護士・看護師・作業療法士と連携しプランの立案できた。	医療依存度の高い利用者を積極的に登録していただき、事業所としての経験値を向上させていく	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します